



かがやき



2019.2.8
第3号

編集発行 / 公益社団法人新潟県看護協会 上越地区支部

支部長あいさつ

新潟県看護協会 上越地区支部長 浅野 広美



新年のご挨拶を申し上げます。
上越地区支部長として活動し、2年目になりました浅野広美と申します。
会員の皆様におかれましては、お忙しい業務の中、上越地区支部協会の事業活動運営にご理解、ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。
平成30年を振り返ると自然災害が数多く発生した1年でした。テレビの画面を見ても災害の恐ろしさを目の当たりにし、災害に備えた日頃の準備を見直す機会ともなりました。また、災害に遭われた方々には心よりお見舞い申し上げます。
今年度は診療報酬・介護報酬の同時改定がありました。2025年問題に向けて看護職は役割を再認識すると共に、多方面の連携が益々重要になってきました。一つの病院等で完結するのではなく、上越地域が一体となって支えあい、チーム医療を行っていく時代に突入したと感じております。また、働き方改革、看護職の役割拡大など改革が進んでいく中、時代の流れに押し流されないよう、看護職が他職種と協働しながら上越の地に根差した看護を展開していくことが大切だと考えており

ます。人口減少も加速しており、看護職の確保・育成に向けて看護の魅力をアピールし、働き続けられる環境を整えていくことも重要です。このように多くの課題が差し迫っておりますが、是非皆様の力を集結し、乗り越えていきましょう。
今年度の支部集會では、久留米大学医学部糖尿病性血管合併症病態・治療学教授 山岸昌一先生より「老けないための食養生」をテーマに御講演をいただきました。多くの市民の方からの参加があり、改めて山岸先生の知名度と、健康や食生活に対する関心の高さを実感いたしました。来年度の講演会につきましては、平成30年3月に改訂された「人生の最終段階における医療の決定プロセスに関するガイドライン」の重要ポイントや各職場での取組方法、患者さんやご家族とのかわり方などについて、新潟県立看護大学成人看護学准教授 酒井禎子先生にお願いしております。会員以外の方でも多くの方々に参加していただければ幸いです。

私たちは、こんな活動をしています。

◆助産師職能研修会 以下の通り助産師職能研修会を開催しました。

開催日：2018年9月8日(土)

魚沼基幹病院にて、助産師職能研修会が行われました。今年度は、「災害時の周産期リエゾン研修」をテーマに、千葉県亀田総合病院の鈴木真先生を講師に招いてお話しいただきました。近年、日本のあちこちで地震や大雨、台風などの自然災害が起きています。研修当日も2日前に北海道胆振東部地震が起きたばかりというタイミングで、とても緊迫感のある実践的なお話をいただきました。ここ新潟県も過去には大きな地震に見舞われています。私自身、新潟県中越地震で被災し、被災後の混乱の中、病院で勤務しました。あの時、母子への看護や管理など大変苦労したのを覚えています。しかしながら、時間がたつにつれ、その苦労の記憶も少しずつ薄れてしまっていました。折に触れて、災害の記憶を忘れず、学んだことを次に生かさなければならぬと感じることができた研修でした。



また、今回の研修は初の試みである4支部合同（うおぬま、十日町、柏崎、上越）の研修会でした。他施設の助産師の方々と情報交換したり、様々な意見を聞くことができたりと実りある研修会でした。
助産師職能委員長 春日瑠里子

◆看護師職能研修会 以下の通り看護師職能研修会を開催しました。

開催日：2018年9月8日(土)

今年度は、9月8日に二つの看護師職能研修会を行いました。
一つ目の研修会は、上越地区の卒後3年目までの看護師を対象とした「上越仲間づくり研修」でした。県立看護大学の西田絵美先生から「看護ケアとケアリング」のご講演の後、少ない時間ではありましたが、茶話会をしながら参加のみなさんの日頃の頑張りや悩みを語り合う場を設けました。二つ目は、例年通りの職能研修会で認知症ケアをテーマに開催しました。こちらも県立看護大学の原等子先生から「心が軽くなる認知症ケアの考え方のヒント」のテーマ通り、認知症ケアの基礎知識から、臨床で活用できる認知症ケアの考え方についてご教授いただきました。参加の皆さんからも、「学びたいと思っていたテーマでよかった」「悩みを共有できてよかった」など感想がもらえました。
皆さんからの意見をもとに、次年度も会員の皆さんにご満足いただける研修を開催したいと思います。どうぞよろしくをお願いします。
看護師職能委員長 高橋久美子



職場紹介

地域と医療をつなぐ ～地域連携センターの取り組み～

新潟県立中央病院 地域連携センター
退院調整看護師 副看護師長 池田 美津子

当院は上越圏域の第三次救急対応の急性期病院としての役割を担う為、職員一丸となり努力をしています。そして、地域連携センターの役割はより重要になってきています。
地域連携センターは地域の医療機関からの紹介、逆紹介の対応と予約、窓口対応の事務部門、各種相談、制度手続き、転院調整の対応の医療ソーシャルワーカー部門、外来受診相談や転院受入れ相談の前方連携看護師、後方連携の退院調整看護師、がん相談支援センターの役割と地域支援病院として共同診療の窓口と地域向けの研修会等も行っていきます。
診療報酬改定と共に導入された退院支援看護師は、MSW含めて2病棟に1人の配置となり3年目になりました。在院日数が14日に短縮する中、入院時より早期に関わり退院支援を進めることの重要性を実感しながら支援しています。以前よりは、治療が終了すれば2週間以上は住めないと理解されるようになってきています。また、ケアマネジャーも早期に来院していただき、状態確認や退院後の生活をイメージした関わりを早期にさせていただける

ケースが増えてきました。
そして、上越地域でも在宅医療推進センターを中心に地域の医療・介護・福祉の連携が円滑にいくようそれぞれが活動しています。病院職員も在宅での生活をイメージし、介護サービスや訪問看護など相互理解しながら積極的に連携していくことが必要です。
これからは、高齢の独居や老々・認知介護、家族が遠方でキーパーソンが身近にいないケースもさらに増加傾向にあります。入院後にあわてて介入するのではなく、地域で生活している時から入院後状態変化した場合の希望や経口摂取が困難になったらどうしたいかの意向確認しておくことの重要性を感じています。今年5月より入院支援室を立ち上げ、予定入院患者の在宅での様子や入院後の意向確認を行い入院前より支援を開始しています。また模索しながらの施行ですが、外来から関わり早期に介入することにより患者さんが安心して治療を終了し地域に帰ることができるよう地域との連携を密に努力していきたいと思っています。



～訪問看護ステーションの取り組み～

上越地区訪問看護ステーション連絡会代表
センター病院訪問看護ステーション 管理者 新井 綾子

センター病院訪問看護ステーションは平成24年4月に開設し、6年が経過しました。「そのらしい人生に寄り添いながら看護を提供する」を理念に掲げ、総勢8人のスタッフ（看護師6人、理学療法士1人、作業療法士1人）でチーム力を発揮しながらサービスを提供しています。今年度は男性看護師が2人になり、色々なケースに対して個別対応ができるようになってきました。個性豊かなスタッフは、利用者の方がホッとできる場が持てるように、「ひとつづつ笑いを取ってくる」を合言葉に日々関わっています。色々な困難事例もありますが、自宅で見ることができない最高の笑顔に遭遇することができ、訪問看護員を味わっています。
上越地域には訪問看護ステーションが14か所あります。平成27年にステーション同士の連絡会を立ち上げ、活動を開始しました。新潟県訪問看護ステーション協議会上越支部としての役割を担いつつ、ステーション間の連携を図り、個々のステーション及び職員のスキルアップを図ることを目的としています。主な活動としては、各有識者や行政の方をアドバイザーとして、定期的な情報交換会、現任研修、各種マニュアルの作成、懇親会を行っています。平成30年度は、現任研修として「ハンドアロママッ

サージ」について講演と実技をおこない、普段とは違う【癒される】自分のためになる有意義な研修となりました。常にケアする立場にある私たちですが、この研修によって「自分を癒す、ともに癒す、みんな癒す」癒し効果を感じることができました。
また、ケアマネとの連携強化を図る目的で「ケアマネ・訪連連携研修会」を3つのブロックに分けて開催しました。「ケアマネと訪連の連携強化に向けて」～皆さんのお悩みを解決するためにまずお話を聞かせて下さい～をテーマに活発な討議を行いました。
訪問看護ステーションは、住み慣れた場所で、いつまでも自分らしく生きる事を支えるために、医療と介護と協働しながら活動しています。ご利用お待ちしております。



通常集會:日時 2019年6月1日(土) 13時30分～

記念講演:日時 2019年6月1日(土) 14時30分～16時

「人生の最終段階における医療の決定プロセスに関するガイドラインの概要と上越地域で実践していくための方策」

講師 酒井禎子先生
新潟県立看護大学 成人看護学 准教授

会場 上越市民プラザ

問い合わせ先 知命堂病院 看護部長 間 (TEL025-523-2161)



2019年度
通常集會および
記念講演会
のご案内

看護職でまだ入会されていない方、入会をお待ちしています。入会希望の方は、下記までご連絡ください。

公益社団法人 新潟県看護協会
TEL 025-265-1225
FAX 025-265-1199

今後も様々な情報発信を行っていききたいと思います。取り上げてほしいテーマがありましたら、広報までお寄せください。

新潟県看護協会 上越地区支部 広報委員会
j.kagayaki@gmail.com

各職能の活動や、その様子などぜひご覧ください。
http://www.niigata-kango.com

新潟県ナースセンターのご案内 平成28年3月に相談窓口が上越に開設されました

★ナースセンターとは★

- 無料の職業紹介
- 相談員によるアドバイス
- 復職のための研修

看護師などの免許を持ちながらも看護に携わっていない方、子育てや家族の引っ越しなどでお仕事を中断している方で、お仕事に戻るのに不安がある場合など、専門の相談員がいていかに相談に乗ってくれます。相談は無料です。

e-ナースセンターへ登録を

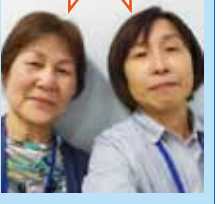
(看護師等無料職業紹介サイト)

- 求職者と求人側（病院・施設等）の方に無料の職業紹介をしています。e-ナースセンターに登録して下さい。（県看護協会のHPより入れます）
- 就業相談や就学中の悩み、キャリアアップ等についてもご相談受付中！
- 求人側のご連絡もお待ちしています。ハローワーク同様にナースセンターへもお問い合わせください。

上越相談窓口のご紹介

会場 上越市市民プラザ2階
(上越市土橋1914番地3)
開設日時 毎週 火・水・木曜日
(第3水曜日は休み)
午前10時～午後3時まで
連絡先 相談員看護師
渡辺 礼子 / 長谷川ヒデ子
TEL 070-2175-6014
(025-520-7476)

気軽にご相談下さい。



上越地区支部1,710名の仲間活動中 (平成30年10月10日現在)